

BULLPUP MACHINE GUN

ブルパップ・マシンガン

DETAIL

各部ディテール

**BEAM SABER**

ビーム・サーベル

REAR VIEW

リアビュー

**COLOR GUIDE**

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●本体：



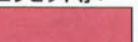
セールカラー (80%)
+ホワイト (20%)
※または、ガンダムカラー
ホワイト10

●胸部、つま先等：



ダークグレー (85%)
+ティナグリーン (15%)
※または、ガンダムカラー
グレー29

●コクピット等：



レッド (95%)
+ブラック (5%)

●関節、武器等：



ニュートラルグレー (80%)
+ミディアムブルー (20%)
※または、ガンダムカラー
グレー28

●武器センサー部：



ホワイト(下地)
+クリヤーグリーン (100%)

オレンジイエロー (80%)
+イエロー (20%)

RGM-79G 'GM COMMAND' E.F.S.F. MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

©創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RGM-79G

TOTAL HEIGHT : 18.0m

WEIGHT : 43.5t

TOTAL WEIGHT : 56.4t

GENERATOR OUT PUT : 1330kw

POSTURE CONTROL VERNIER : 10

MATERIAL :

TITANIUM CERAMIC COMPOSITE

ARMAMENTS :

VULCAN ×2

BEAM SABER ×2

BULLPUP MACHINEGUN



1/144 SCALE

HG
UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装しております。

BANDAI

0125299

RGM-79G "GM COMMAND"

「ジム・コマンド」は、一年戦争末期に開発された全面改修後の局地戦用の機体である。それらの機体は他にも様々な地域へ補充用に配備されたため、各部隊における配備数は多くなかったが、生産数そのものはかなりの数にのぼる。特に「ジム・コマンド」は、主戦場を除く地域に配備されるケースが数多く見受けられる。RGM-79D、G系の機体は、いわゆる「ジム」のうち、後期量産型に属する機体で、生産や設計などのノウハウがそれなりに蓄積されたため、規格が乱立していた最初期の量産型よりも整備性、操縦性なども共に向上している。各装甲やランダセルなどの装備の換装も比較的容易であり、同系統の79D、79G、79GSは、基礎構造には、ほとんど手を加えることなく、仕様の変更が可能である。

アンテナ

他の機体と異なり、アンテナの基部は、いわゆる「えりもど」に据えられている。これは、コロニーの施設や設備に接触したりしないように配慮されたためである。



ランダセル

各バーニアラスターは、コロニー内での稼働に特化して配置されているほか、サーベルのホルダーデバイスの代わりにセンサーやタンク類が増設されている。

ブルバップ・マシンガン
一年戦争末期に一部の量産機に配備された武装。当時の標準的な戦闘車両などに採用されていた機銃などと同規格の90mm実弾を射出する。マガジンとチャンバーを後端部に備えるブルバップと呼ばれるタイプは、全長を短く、銃身(薬室から銃口まで)を長くすることが可能。

SPEC

型式番号：RGM-79G
頭頂高：18.0m
本体重量：43.5t
全備重量：56.4t
ジェネレーター出力：1330kw
姿勢制御バーニア：10
装甲材質：チタン・セラミック複合材
武装：頭部バルカン砲×2
ビーム・サーベル×2
ブルバップ・マシンガン



あった。主に各コロニーの防空、防衛用として、中立勢力を含むコロニーの港湾警備や施設の整備、補修などにも用いられたほか、地上では極地などの戦略上の重要度が低い地域の通信施設の防衛などのために配備されている。こういった、極端に環境が異なる領域に同系機が率先して配備されたのは、次期量産機開発に用いる基礎データの収集という目的もあったからだとされている。このRGM-79G ジム・コマンドは、コロニー内と周辺海域での運用を想定した「拠点防衛用」に仕様が特化しており、そのため「コロニー戦仕様」とも呼ばれる。79G系の機体は、スペック的には公国軍によるMS-14 ゲルググに匹敵すると言われているが、緊急性が低い地域へ多く配備されていたためか、限定された領域での戦闘を想定して各機能が抑制されている場合が多く、ポテンシャルを存分に発揮できない局面が多かったとされている。

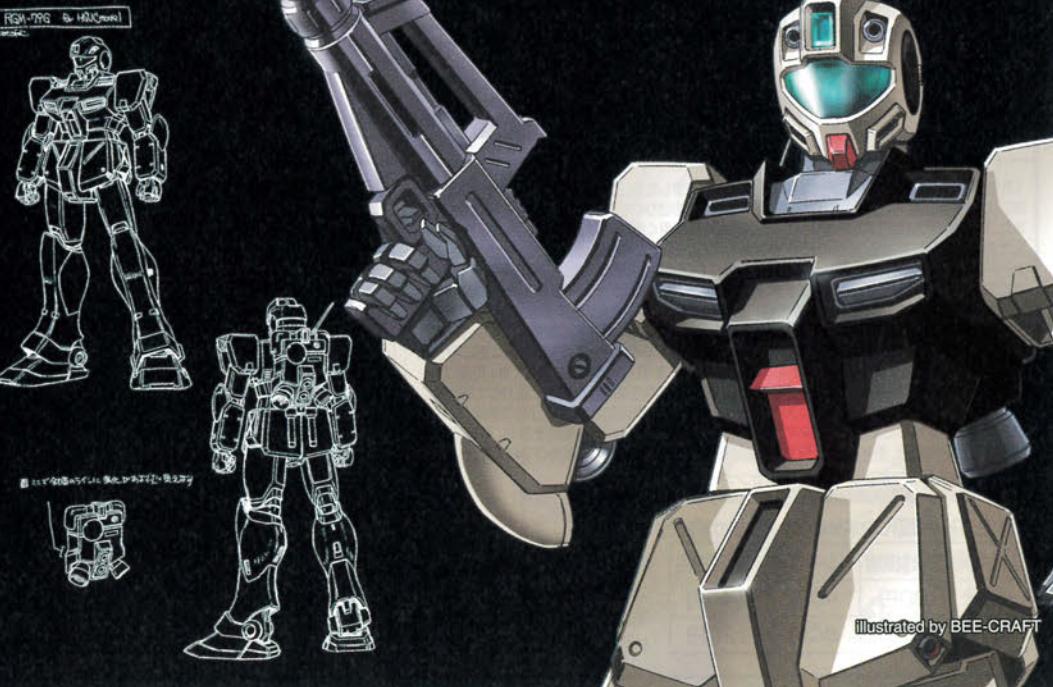
RGM-79G ジム・コマンド

RGM-79G 「ジム・コマンド コロニー戦仕様」は、OVAシリーズ「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」に登場する量産型MSである。U.C.0079年12月19日夕刻。連邦軍兵士に変装したサイクロプス隊のシャタイナー、ガルシア、バーニア3人は、アレックスを収容するテスト基地へ潜入。ミーシャは機動のため、そして隊長たちが失敗した時のためケンブラーで出撃する。クリスマスを目前に駆けむ街に突如として出現したケンブラーは、さながら怪獣のように人工の大地を踏みしだく。「グレイファンタムを中に入れろ! MSが接近するようならジムとガンキャノンで防衛ラインを張る!」敵MS出現の報を受け、リボーコロニーに駐留する連邦軍は、リーア軍(サイド6の防衛隊)支援のためコロニー内へと進入。「スカーレット隊、発進! 艦長の命令一下、住宅街に迫るケンブラー阻止のため、グレイファンタムの左舷カタパルトから2機のジム・スナイパーIIとガンキャノン量産型、右舷カタパルトからは2機のジム・コマンド コロニー戦仕様機と、もう一機のガンキャノン量産型が出撃する。高速機動で不慣れなリーア軍の有線ミサイルをかいくぐり、市街地にたどり着いたケンブラーは、おそらくは演習通りなのであろう、ゆっくりと降下してくる連邦軍のMSをその隙間に捕らえる!!



CG Work by YUJI KONNO (Jam)

RGM-79G GM COMMAND (ジム・コマンド) デザインワークス(コンセプトデザイン：カトキハジメ)



Illustrated by BEE-CRAFT

△警告(けいこく)

保護者の方へ必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるバーツ



・両側に同じバーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取るところ



・部品を複数の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



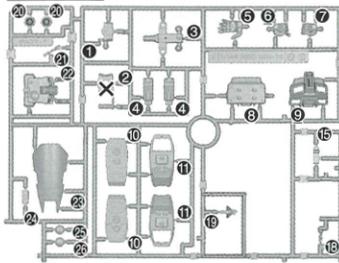
・どちらかを選んで取り付ける



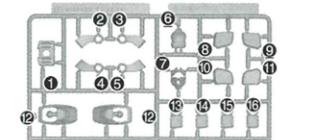
・反対側も同じように動かします

パートリスト

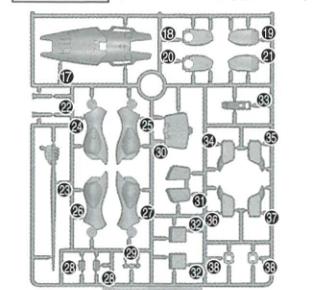
Aパート (スチロール樹脂: PS)



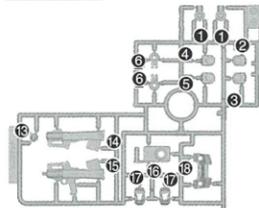
B1パート (スチロール樹脂: PS)



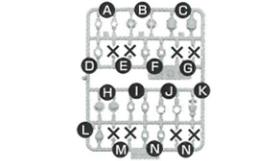
B2パート (スチロール樹脂: PS)



Cパート (ABS樹脂: ABS)



〈PC-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



●シール.....1

1

PCK(!)

A9

②

A15

C18

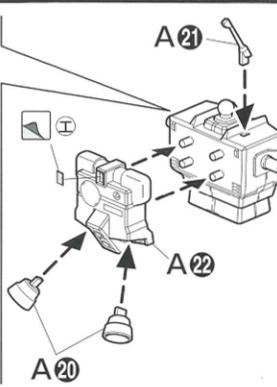
PCD

A8

B1(!)

A20

A21



2

③

A19

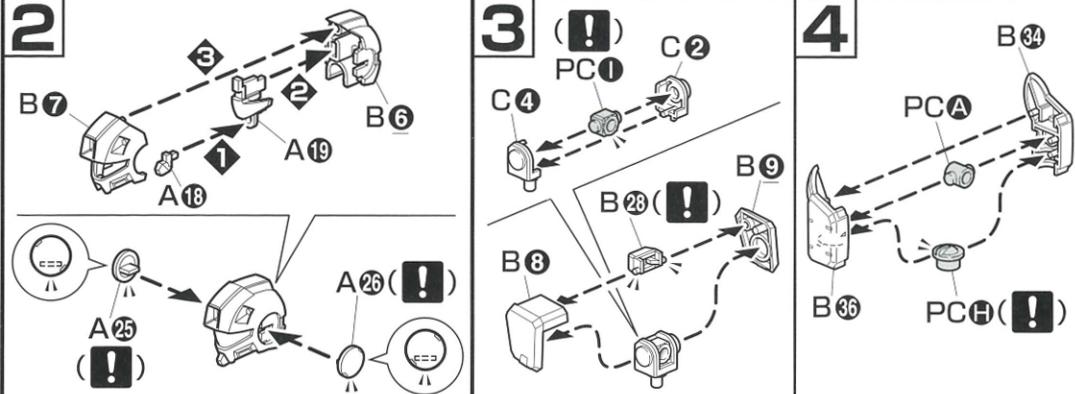
A18

B7

B6

A25(!)

A25(!)



3

C2

C4

B9

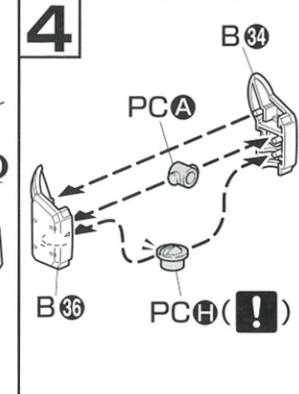
B8

B28(!)

B36

PCA

PCH(!)



5

3

B38

②

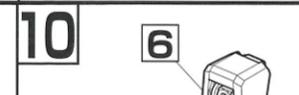
C6

C1

①

4

④



6

B11

B28(!)

B10

C3

②

PC1

C5



7

PCA

B35

(!)

PCH

B37



8

B14

A5

②

7

B13

A7



